

# 平成 30 年度 自己評価結果公表シート

作成 神童幼稚園

## 1、本園の教育目標

本園は、「平和と共生をめざす、寛容で自立した人間の育成」をめざします。毎朝90分間の時間・空間・仲間・ゆとりの間を保障した「のびのび充実保育」を通して自立・自律心を養い、幼児の興味関心に沿った遊びや生活を展開し、仲間との協同の活動に発展する保育をめざします。

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

・教育保育計画の策定      ・保育環境の見直しと整備

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育保育計画の策定	<ul style="list-style-type: none"><li>・前年度に引き続き月1回のカリキュラム会議を開催。連動して学年ごとに月案会議、カンファレンス会議も開催し子どもたちの育ちの共有、支援を要する子どもへの対応協議等を行いカリキュラム会議に反映させた。併せてシニア、マスターリーダーで研究部会を設けて本園の特色保育の年間計画を作成しカリキュラム会議に反映させた。</li><li>・豊中市教育保育環境ガイドライン策定協議に副園長が参画し本園の保育室内外の環境整備を見直す契機に出来た。</li></ul>
保育環境の見直しと整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・5歳児クラスから園児椅子を木製ピットチェア(背もたれ低く、立腰姿勢がとれ体幹を鍛えることが出来る)に変更した。</li><li>・管理棟屋上をゴムチップ舗装化し133.23㎡の園庭を整備した。園庭面積が基準以上(2歳児以上一人当たり3.3㎡)となり園児の遊びが更に活性化できた。</li></ul>

## 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新・幼保連携型認定こども園教育保育要領に対応すべく、質的・物的環境面で改善は一定進んだと評価できるが、増加する新任保育者に対して本園の建学理念や子どもの人権に配慮した保育の在り方・組み立て方を更に初任者に理解できるように段階的に指導・支援する必要がある。

## 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育教諭全体で教育保育計画を作り上げる。	<ul style="list-style-type: none"><li>・教育保育計画を協議できる小部会を設ける。</li><li>・保育者の対話力向上を目指し創作劇あそびを主体に園内公開保育を実施する。</li></ul>
幼保連携型認定こども園教育保育要領改訂を見据えて保育環境を見直す。	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育環境ガイドライン(スケール)の試行を継続する。</li><li>・園児の遊び、生活空間の環整整備をはかる。</li><li>・応答的な保育を実践するための研修を実施する。</li></ul>

## 6、財務状況

公認会計士による監査により、適正に運営されていると認められています。

以上